

学校だより

小川中学校

No. 20

平成27年11月9日

文責：校長 佐藤正則

目標を達成 連続150日に！

11月4日（水）に、今年度の生徒会目標の一つである連続無遅刻150日に到達しました。早速、この日の放課後、PTA 役員出席の下、達成記念集会を開き、全員で祝いました。

「遅刻をしない」は当たり前ですが、これをずっと続けることは極めて困難です。ですから、これまで何年間も「50日達成」を目標として掲げられながらも、達成することができませんでした。しかし、昨年、50日を達成し、さらに100日を超えると、生徒たちは、俄然やる気を見せ、今年度は「150日」を目標として掲げ、挑戦しました。これが達成できた意義は大きいと思います。記念集会で、後期生徒会長の草野君が「次は200日を達成し、また、盛大な記念集会を開きましょう。」と呼びかけたように、今回の達成が大きな自信となり、「無理かな？」と思うようなことでも、目標として掲げ、果敢に挑戦しようという意欲が確実に育ってきているのです。赴任以来、「もっと挑戦意欲と自信を高めたい」と考えてきましたので、とてもうれしいかぎりです。



達成記念集会で無遅刻連続を続けることの意味を話しました。私は3点あると思っています。

1. 社会的な信用、信頼を高められることです。

社会生活で大切なことの一つに、信頼、信用があります。信用づくりの第一歩は「約束の時間を守る」ことです。それだけに、今、小川中生は、社会的な信頼をどんどん高めているのです。

2. 心身が健康になっていくことです。

一定の時間に登校するためには、起きる時間、寝る時間等大きなずれが少なくなり、生活リズムが整ってきます。これが整ってくると、抵抗力が高まり、病気になりにくくなります。また、少々の困難にもへこたれない強い心になっていきます。

3. 集団の質が高まっていくことです。

時間を守ること自体、集団の規律が高まっています。朝の活動はそろって始められます。さらに、やるべき時には「全員が同じ目標に向かって努力できる」という集団となっていくます。これは、諸活動の取り組みで大きな力を発揮します。



今回の達成は、保護者の皆様のご協力のお陰でもあります。ありがとうございました。また、記念集会には、達成を祝って、高木 PTA 会長を初め、多くの役員の方が出席し、祝っていただき、記念品までいただきました。お忙しい中、ありがとうございました。なお、記録は現在も継続中です。

1組、総合優勝 3年球技大会

11月5日(木)の午後、行いました。1学期の体育フェスティバルから球技を除いた代わりとして急ぎょ計画したものです。佐藤美里さんの選手宣誓で始め、男女ともソフトボールとバスケットボールの2種目に汗を流しました。



準備運動は大好きなダンスで!

流しました。

3年生は先日行われた合唱コンクールでは同時優勝でしたので、この大会で決着をつけようと、どちらの学級もおそろいのTシャツに身を包み、勝利に向けての意気込みはすごいものでした。

今回の結果は、1組の総合優勝となりましたが、これで、年間の団体種目3つは、「1勝1敗1分」と五分です。勝負にはとても熱く臨むのですが、日頃はとっても仲のよい学年らしい結末です。



心が整っています。朝の下駄箱!



11月1日(日)に本校体育館で、第14回小川町文化団体芸能発表会があり、私も来賓として出席しました。

会が終了し、帰ろうとしたら、出演者のお一人が、本校生徒の下駄箱を眺めていましたので、理由を伺ったところ、「実に整然としていて感心した」からとのこと。

私たちは当たり前を感じる風景ですが、ほめられて改めて眺め、考えました。

小さい時からのご家庭の教えを守っている素直さと現在、「心が整っていて、余裕がある」のだろうと思いました。こうした心持ちはこれからも大切にさせたいですね。

ふれあい弁当デー実施!

10月28日は「ふれあい弁当デー」でした。「生徒も交えて、弁当づくりを行い、ご家庭でのふれあいを深めてほしい」、という願いで実施したものです。

弁当への関わりは、買い出しから参加した生徒や弁当箱を用意しただけという生徒まで様々でしたが、保護者の皆さんの苦労と思いやりを強く感じる機会となりました。

昼食時は、どの学級も楽しく会食しました。

学校へ行こう週間が終了しました。学校見学にお出でいただいた保護者・地域の皆さん、ありがとうございました。

学校支援ボランティアとの懇談会

11月2日、午後から30数名の方が出席して、小玉小学校で行いました。

各学校の教育活動の様子を報告した後、児童・生徒たちにより良い教育環境をつくっていくための意見交換をしました。この会議には、市教委生涯学習課職員と公民館指導員も参加しました。

